

特集 議会×須恵町消防団 座談会

安心・安全なまちづくり

消防団の声を聴きました

「自分たちの町は自分たちで守る」の精神に基づき、地域の安心・安全を守るために活動している消防団。団員は普段、それぞれが本業の仕事を持っており、有事の際は非常勤特別職の地方公務員として出動します。



松山 力弥 議員



田ノ上 真 議員



今村 桂子 議員



三角 栄重 議員



稲永 辰己 議員



災害から町民の 生命財産を守るために

住民の安心・安全の為に、まず **団員ファースト**。社会人になっても熱くなれるのは消防団だから。

稲光 智明 さん(団長)



現場の経験不足。判断や応用力を**訓練で強化**していきたい。

猪股 崇 さん(副団長)



継続は力なり。毎月の試運転、機械器具点検、操法の練習で実際の災害対応。

稲永 清次 さん(副団長)



分団長がしっかりと後輩の成長を見守ることが **安心・安全**に。

岩元 圭太 さん(須恵町消防役員会 会長)



地域とのつながりもでき、入団して良かった。消防団に入りやすい環境づくりに努めていく。

松山 藤光 さん(須恵町消防役員会 副会長)



消防団の力になれるように**家族も応援**してくれている。

田ノ下 法朗 さん(須恵町指導員科 会長)



須恵町の消防団

町内各地区を所管とする10分団(分団長)を紹介します

- 本部分団 (上野 淳さん)
- 佐谷分団 (松山 藤光さん)
- 上須恵分団 (村山 真太郎さん)
- 須恵分団 (諏訪田 憲さん)
- 甲植木分団 (今泉 友成さん)
- 乙植木分団 (田ノ下 法朗さん)
- 旅石分団 (稲永 泰彦さん)
- 飛越分団 (岩元 圭太さん)
- 新生分団 (前田 裕二さん)
- 新原分団 (母里 道武さん)

活動内容は?

どのような活動を行っていますか

火災に対して

毎月の機械器具及び消火栓の点検や春・秋の防火週間における防災啓もう活動、操法訓練などを行なっています。

水害に対して

水防訓練を実施しています。主に備蓄土の訓練で、土のう袋の作成や効率的な積み方などの訓練をしています。年間に約2000袋の土のうを備蓄しています。

その他

消防ポンプ操法大会、南部三町合同防災訓練(須恵・志免・宇美)、出初式、入退団式、成人式等への参加です。

消防ポンプ操法大会とは

消防技術の向上と士気の高揚を目的に、実際に設置した防火水槽の「水利」から火災現場を想定した「火点」に、ホースの延長、放水、消火、納めまでの基本操作を競う大会です。須恵町は、過去に2度、福岡県代表として全国大会に出場しました。

消防団の課題は?

活動する中で、困っている事や課題はありますか

消防団員の不足です。170名が定員ですが、現在150名の在籍となっています。また、団員の実働率が低下しています。町外の企業に勤めている団員がほとんどなので、昼間の火災等に出動できる団員が不足しています。出動できる団員が少なく、放水するホースの数も少なくなるため、十分な消火活動ができなくなってしまいます。そして、水害時における町の災害対策本部との連携・情報共有の強化などが今後の検討課題です。

入って良かった事は?

消防団に入団して良かったことはありますか

指揮命令系統が重要な組織なので、統率力が養われ、礼儀も正しくなったと思います。また、啓もう活動や地域行事などで、たくさんの人たちとつながることができ、すばらしい仲間にも出会えました。これからも、団員と力を合わせ、町や地域活動に貢献していきたいと思っています。

町民へのお願いは?

町民のみなさまにお知らせやお願いはありますか

住宅用火災報知器の設置。そして、初期消火活動が出来るように、1家に1本の消火器の設置をお願いしたいです。

消防団員を募集

消防団員を募集しています

適齢で入団出来るような方の情報をお寄せ下さい。

みんなの力を結集して

行政、消防団、自主防災組織、議会、町民一人ひとりが情報の共有を図り、須恵町の自主防災の理解を深めていかなければならないと思います。みんなの力を結集して安心・安全なまちづくりに取り組みましょう。



消防役員会とは

団長を含む分団長以上の役員で構成。年8回の定例会で、団の行事の報告や情報共有を行なっている。

指導員科とは

指導員研修を受けた者で、各分団に4名程度配置。若手団員の指導や、訓練方法等の提案・助言を行なう。